

教科名	国語	単位数	4単位	学科・学年	普通科 1年
教科書名	新編国語総合			出版社名	東京書籍
副教材等	常用漢字オールクリア			出版社名	尚文出版
科目目標	伝え合う力を高め、思考力を伸ばす。また、言語感覚を磨き心を豊かにする。 読み取る力、読書に親しむ態度を育てる。				
到達目標 (検定目標)	国語を尊重し、言語活動に興味を持てるようにする。 自分の考えをまとめて話すことができる。 文章の内容を的確に読み取ることができる。 継続的な漢字学習を通して、正しく読み、書く能力を身に付け、語彙を豊かにする。				
成績評価	定期考査、小テスト、課題、提出物、授業態度などをもとに、評価の観点により総合的に評価します。				
評価規準	関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 技：技能・表現 知：知識・理解				

授 業 計 画

月	授 業 内 容	授 業 目 標	評価の観点			
			関	思	技	知
4	随想・未来を開く「ルリボシカミキリの青」 「古文に親しむ」漢字学習	語句の意味を的確に理解し、筆者の日常の体験から生まれたものの見方や考え方を理解する。古文の基礎を学びなおす。	●	●	●	●
5	小説・ふれあう心「とんかつ」 「児のそら寝」・漢字学習	全体をとらえて概要を把握し、物語の展開を理解する。登場人物の心情の変化を理解し、読解力を養う。親しみのある古文教材で、古文を学ぶ興味を持たせる。	●	●	●	●
6	評論・現代を生きる「未来をつくる想像力」 小説・心の風景「羅生門」 徒然草「亀山殿の御池に」・漢字学習	評論を読むことで、系統立った思考力を養う。小説の古典的作品に触れることで、長文読解力と小説への興味を持たせる。易しい古典教材から人の生き方を学ぶ。	●	●	●	●
7	随想・未来を開く「隣の校庭」 漢字学習	日常的な生活の中から、注意深く世の中を見る目を養う。	●	●	●	●

9	小説・ふれあう心「果物屋のたつ子さん」日々の思い・随筆「奥山に、猫またといふものありて」 漢字学習	日常生活に即した小説により、心のふれあいを学ぶ。誰にも心当たりのある古文の教材で、楽しく学ぶ。	●	●	●	●	
10	小説・心の風景「ほおずきの花」 随筆・枕草子「うつくしきもの」 漢字学習	心象風景を細かく表現した小説をじっくり読み解くことで、豊かな感受性を養う。珠玉の古典随筆を読むことで、いにしえ人の心に触れる。	●	●	●	●	
11	随想・つながりを生きる「待つということ」詩・言葉がひらく世界・「空をかついで」「二十億光年の孤独」 物語・古人の生き方「芥川」 漢字練習	随想により、人と人との心をつなぐ力を養う。優れた詩を読み取ることで、言葉の美しさを味わう。古文の定番である「芥川」を読み、男と女の愛情の機微を学ぶ。	●	●	●	●	
12	随想・つながりを生きる「里山物語」 短歌・俳句珠玉のうた「その子二十」 漢文入門・漢文に親しむ「守株」「借虎威」漢字学習	随想を読み、世の中の仕組みや、人の心をつなぐ力を学ぶ。短歌・俳句の基礎を学ぶ。 漢文の基礎を学ぶ。	●	●	●	●	
1	小説・生を支えるもの「沖縄の手記から」漢文入門・漢文に親しむ「五十歩百歩」漢字学習	戦争文学を読み戦争の悲惨さと命の大切さを学ぶ。漢文の基礎を学ぶ。	●	●	●	●	
2	随想・生きるということ「りんごのほっぺ」唐詩「春暁」 漢字学習	随想を読み、原爆の悲惨さと、親子の情愛の深さを学ぶ。漢詩の基礎を学ぶ。	●	●	●	●	
3	評論・広がる世界「自己基準と他者基準」	論理的文章を読み解き、次の学年への心構えを学ぶ。	●	●	●	●	

【履修上の注意およびワンポイントアドバイス】

- ・国語は本読みが基本です。毎日音読するようにしましょう。継続して活字になれましょう。
- ・辞書類はいつでも調べられるように常に手元におきましょう。
- ・定期的に行われる漢字テストなどには積極的に取り組みましょう。